

警戒レベルについて

それぞれの警戒レベルに相当する情報を収集し、早めの避難行動の判断に役立ててください。
大東市からの避難指示等の発令に留意するとともに、避難指示等が発令されていなくとも自ら避難の判断をしてください。

警戒レベル5では災害が発生して避難できなくなる場合もあることから、警戒レベル3や4の段階で避難することが重要です。

警戒レベル	避難情報等	避難行動等	警戒レベル相当情報（例）
警戒レベル 5	緊急安全確保 災害発生または切迫した段階で発令 [大東市が発令]	すでに安全な避難ができず命の危険直ちに安全確保	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 等
~~~~~〈警戒レベル4までに必ず避難!〉~~~~~			
警戒レベル 4 全員避難	避難指示 地域の状況に応じて緊急的に避難を促す場合等に発令 [大東市が発令]	危険な場所から全員避難	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等
警戒レベル 3 高齢者等は避難	高齢者等避難 [大東市が発令]	危険な場所から高齢者や障害のある人等は避難	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報 等
警戒レベル 2	大雨・洪水注意報 [気象庁が発表]	避難に備え、総合防災マップ(本誌)により、自らの避難行動を確認	警戒レベル2相当情報 氾濫注意情報
警戒レベル 1	早期注意情報 [気象庁が発表]	災害への心構えを高める	

警報等が発令されても、警戒レベル・避難指示等の避難情報が発表されるとは限りません。
警戒レベル・避難指示等の避難情報は、気象状況や市内の被害状況等を総合的に判断して市が発令します。

避難行動判定フロー



「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクとるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は?

必ず取り組みましょう

*1 ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

ハザードマップ*1で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

色が塗られていないても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

家がある場所に色が塗られていますか?

はい

災害の危険があるので、原則として*2自宅の外に避難が必要です。

例外

*2 浸水の危険があっても、以下の全てをみたす場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

- ①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である。
- ②浸水する深さよりも高いところにいる。
- ③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか?

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

はい

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう
(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、市が指定している**指定緊急避難場所に避難**しましょう
(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル4避難指示が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう
(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル4避難指示が出たら、市が指定している**指定緊急避難場所に避難**しましょう